

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年9月11日
タイトル	「くわい」の植付けを見学したよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年7月3日（火）福山市立新涯小学校5年生約134名が、新涯小学校の近くのほ場で「くわい」の植付け見学をしましたので、その様子取材しました。

新涯小学校5年生は、一年を通じて、地域の特産物である「くわい」についての学習に取り組んでおられ、先日は第1弾として「くわい」の出前授業をしました。今回は第2弾として、小学校近くの新涯町にある水土里ネット福山組合員の種本守雄さんのほ場で「くわい」の植付け見学をしました。

新涯小学校からみんなでほ場まで歩いて移動し、ほ場の近くの公園で種本さんと水土里ネット福山の理事で前回の出前授業講師の枝廣義春さんから話しを聞き見学します。

枝廣さんから実際に植えるくわいを使い、くわいから出ている茎の部分を持って土の中にくわいをしっかりと入れることなど植え方の説明をされました。



雨の中、真剣に説明を聞きました！



くわいの特長である矢じりの葉！

5年生を代表しての挨拶で「種本さんが実際出荷されるくわいの見学をさせていただきます。けっして邪魔にならないよう注意しましょう。しっかり見学して学校で植付けをする参考にしましょう。」と今日の「めあて」が発表されました。

4組あるので1組ずつ交代で見学することになり、ほ場のすぐ近くまで行き見学しました。苗の持ち方や植え方など説明しながら植えてくださり、子ども達は真剣な眼差しで植付けの様子を見ていました。1列植えたら次の組と交代し全部の組が見学しました。



間近で植付けを見学！興味津々です！



田植えの要領で植付け！

全員の見学が終わるともう一度公園に集まり話を聞きました。

種本さんが「これから7月中旬に肥料を1回し、アブラムシの予防を2回します。11月の中旬から収穫しますので収穫も見学に来てください。」と話されました。

枝廣さんからは、「これから学校のミニたんぼへくわいを植えると思いますが、今日植付けされていたように一定の距離を開けて植えるように、くわいは水が一番大事ですから、夏休みでも絶対に水を欠かさずやるようにしてください。」と話されました。

最後に、子ども達から大きな声で元気一杯に「ありがとうございました。」と挨拶をして植付け見学は終了しました。

今年度も新涯小学校では、「くわい委員」に選ばれた子ども達が、校庭のミニたんぼへ植付け、収穫といった昔ながらの手作業による「くわい」栽培の農業体験をします。

水土里ネット福山では、引き続き子ども達の農業体験の取材を通じ、子ども達と水土里ネット福山組合員や地域住民との交流を図り、農業の大切さやふるさとの誇りを発信してまいります。